

皆さんのエコ活動を応援します！

相模原市立 環境情報センター

どうぞご利用ください 事前の申込みが必要です。窓口またはお電話でお問い合わせください。



学習室

定員 85名
講演会、学習会、会議などに最適



活動室

定員 50名
工作、簡易実験、
ワークショップなどに最適

料金表

利用時間区分	学習室	活動室
午前 (9:00 ~ 12:00)	¥1,500	¥1,200
午後 (13:00 ~ 17:00)	¥2,000	¥1,600
夜間 (18:00 ~ 22:00)	¥2,200	¥1,800
全日 (9:00 ~ 22:00)	¥5,700	¥4,600

メンバー
募集中!!

こどもエコクラブ

3才から高校生までを募集中

自然環境観察員

市内在住または在勤の方、中学生以上の在学の方を募集中

エコネットの輪

市民活動団体、NPO 法人、事業者、大学、行政、個人での参加者を募集中

詳しくはホームページをご覧ください

環境のちよこつと話 No.30

え？ こんなところにも「海洋汚染」の原因が！！

《栄養分の増えすぎによる海のおよごれ》

野菜がよく育つように畑にまく肥料などに含まれている「窒素」や「リン」などの栄養分が川などに流れこんで、やがて海に運ばれます。

栄養になるものが増えるのは良いことのように思っていますが、これらの栄養分は海にいる植物プランクトンの栄養分にもなるため、植物プランクトンの大発生へ繋がります。その結果、水中が酸素不足になったり、魚のえらに詰まったりして死んでしまうこともあります。

このように、海や湖などの栄養分が多くなり栄養分が多くなりすぎることを「富栄養化」といいます。生き物にとって有害な物質ではなくても、その量が多すぎると海の自然なバランスがくずれて生き物に悪い影響が出てきます。

人間が海をよごし、海の生き物や私たち自身の健康、漁業などに悪影響を及ぼすことが海洋汚染です。



相模原市立 環境情報センター

〒252-0236
相模原市中央区富士見 1丁目3番41号
TEL. 042-769-9248 FAX. 042-751-2036

- Eメール kankyo@eicwits.com
- ホームページ <http://eic-sagamihara.jp/>
- 開所時間 午前9時～午後5時
- 休所日 毎週木曜日、年末年始、施設点検日

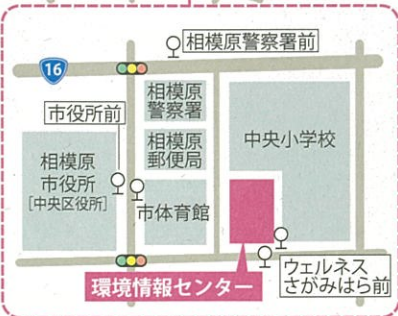
フェイスブック
もみてね!



交通

- JR相模原駅から
① 徒歩約20分
② バス「市役所前」下車徒歩2分
「ウェルネスさがみはら前」下車すぐ
- JR上野原駅から
① バス「市役所前」下車徒歩2分
- 車でお越しの方
環境情報センター及び周辺の市役所
駐車場をご利用ください
(2時間までの駐車は無料)

なるべく公共の交通機関をご利用ください。



いかがでしたか？他にもいろいろなテーマのセンターNEWSがありますので、ぜひお立ち寄りください。

この印刷物の紙は、環境に配慮した再生紙を使用しています

環境情報センター NEWS

冬号

平成31年1月1日発行

発行：相模原市立環境情報センター
指定管理者
株式会社ウイツコミュニティ



海を殺さないで！

「海洋プラスチック汚染」

わたしたちの生活に欠かせない、安くて便利なプラスチックが、いま、ごみとなって海に広がっています。

プラスチックごみが見つからない海はもうどこにもありません。

このまま海にプラスチックごみが増え続けていくと、どのような事が起こるのでしょうか……。



写真：shutterstock

海洋プラスチック汚染ってなに？

プラスチックは太陽からの紫外線や寒暖差で、もろく壊れやすくなります。大きいものは波の力で海岸に打ち上げられ、強い太陽の光を浴び、砂に揉まれて小さく砕け、海や生き物にまで大きな被害を与えます。



監修：磯辺篤彦（九州大学応用力学研究所教授）

洗顔料や歯みがき粉に
ふくまれるマイクロ
ビーズの流出



化学繊維（ナイロン、
ポリエステル、アクリルなど）
の服の洗たくでも…

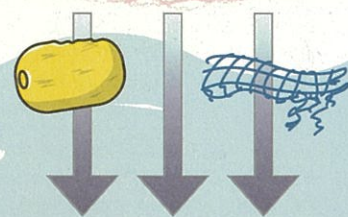


大雨の時は
下水道処理も通り抜けて…

洗たくでも
海に流れ出る！
服に使われる化学繊維は、
下水処理もぬけてしまうほど
小さくなって海に流れこ
むことがあります。

プラスチックはなくなる！
プラスチックはどんなに小さくなっ
ても分解されないため、遠い海まで
広がってしまいます。そうすると回
収もできなくなり、いつまでも海を
ただよい続けるごみとなります

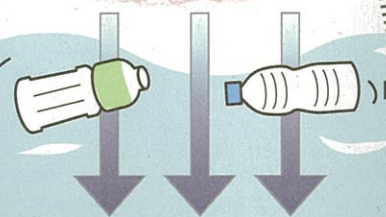
海の仕事や釣りなどで
なくなったり捨てられたり
した道具



海外へ輸出された
プラスチックごみ
の不適切な処理



道ばたに捨てられた
プラスチックごみが、
川から海へ…



海の生き物が動けなくなる！

漁業や養殖業で使われたロープや
網、釣り糸がからまって動けなく
なってしまいます。



動けなくなったウミガメ
Photo: Doug Helton, NOAA/NOS/ORR/ERD

生き物がまちがえて食べる！

魚や鳥などが、プラスチックをエ
サとまちがえて食べてしまうこと
もあります。栄養がないのに満腹
になったり、有害物質を吸着して
いたりして、悪い影
響をおよぼすことも。



Photo: 一般社団法人 JEAN

北西ハワイのレイサン島
で見つかった、プラス
チックごみを誤飲してい
たコアホドリ之死骸



プランクトンの大きさは約 0.1 mm = 髪の毛の直径と同じ
Photo: Matthew Cole et al., "Microplastic Ingestion by Zooplankton,"
"Environ. Sci. Technol.", 2013, 47 (12), pp 6646-6655, DOI: 10.1021/es400663f

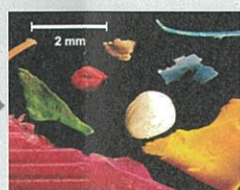
こんなに小さなプランクトンも小さ
なプラスチック片を飲みこんでしま
います。それを魚が食べ、その魚を
人間が食べているかもしれません。

5 mm より小さくなったものを
「マイクロプラスチック」
といいます。

私たちが食べて
いる塩にもふくま
れているかも!?



photo: DOWA エコジャーナル



マイクロプラスチック
Photo: UNEP (2016). Marine Plastic Debris and Microplastics.

世界に広がるプラスチックフリー

※プラスチックを減らすための活動

EU:
2030年までにプラスチックの容器・包装
をすべてリサイクル・リユース可能なも
のとする計画を発表

イギリス:
プラスチック製ストロー、マドラー、プラ
スチックを芯とする綿棒の販売を禁止

インド:
すべての使い捨てプラスチック製品を禁止

フランス:
使い捨てプラスチック袋、プラスチック
製ナイフ・フォーク等を禁止

**アメリカ
サンフランシスコ:**
プラスチックのレジ袋使用禁止
プラスチックボトルを市の施設内で使う
ことを禁止 スチロール禁止

カリフォルニア州:
プラスチックレジ袋の配布禁止
シアトル市:
プラスチックレジ袋やストローを禁止

台湾:
マイクロプラスチック製品禁止

韓国:
マイクロプラスチック製品禁止

日本でも「プラスチック・スマート」キャンペーンを
実施しています。くわしくは環境省HPをどうぞ。

<http://www.env.go.jp/>



海中プラスチックごみの 総重量が 魚の総重量を超える！

■プラスチックの年間製造量
1950年 200万トン
↓
2015年 4億トン
■今日までに製造された
プラスチックの総量
2017年 83億トン

2050年までに海に捨てられる
プラスチックごみの総重量は、
海に生息する魚の総重量を超え
ると予想されています。



プラスチックごみを
出さないように
することが大事なんだね



街中や山に捨てられたプラスチック製品が、
川に流れ込み、川から海へと
運ばれて、プラスチックごみ
となることもあるんだって

- プラスチック製品の使い捨ての習慣を見直しましょう
- ごみのポイ捨ては絶対にやめましょう
- 河川や海岸などの清掃活動に積極的に参加してみましょう

さがみ
はら エコ
なかも

「境川クリーンアップ作戦
実行委員会」

“境川クリーンアップ作戦”とは、町田市と相模
原市の間を流れる「境川」をみんなで協力して、
年に一度「おそうじではじめる仲間づくり」を
合言葉に地域のまちづくり・仲間の輪が広がるこ
とを目的に活動しています。
川を大切にする心や自然環境をキレイに保つこと
を目指し、平成13年から毎年「境川クリーンアッ
プ作戦」を開始し、平成29年は境川沿いの11会
場で開催しました。



《フェンス de ギャラリー》

平成29年は川沿いのフェンスに、幼稚園・小学
校のみなさんが「未来の境川」をテーマに描いた
絵や境川に生息する動植物の写真など合計 2,025
点を展示しました。

《みんなで協力》

平成30年は台風の影響で中止となりましたが、
参加人数は毎年2,500人をこえるたくさんの参加
者で清掃を行い、3,000Kg以上のごみを回収しま
した。
ゴミの内訳は紙・ビニール・ペットボトル、粗大
ごみなどです。

◎2019年度は5月26日(日)開催予定です。
みなさんもぜひ参加してみませんか。

詳しくは検索

境川クリーンアップ作戦
<https://sakaigawacup.jp/>



環境情報センターの図書コーナーにあります。



「海まるごと大研究」全5巻
保坂直紀著 講談社刊